

| | | | | | | | | |
|--|--|------|----------------|---|-------------|----------|------------|----|
| 授業科目 | * 疾病学各論 I | | | | 単位 | 2 | | |
| 履 修 | 必修 | 関連資格 | 高一種免(看護) 養教一種免 | | ナンバリング | NU11106J | | |
| 開講年次 | 2 | 開講時期 | 前期 | 該当DP | DP1-2 DP2-1 | | | |
| 担当教員 | 浅野 嘉延 | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、病院に長く勤務した内科医、外科医、麻酔科医、産婦人科医が、臨床経験をもとに現在の医療現場で必要とされる疾病学の知識について解説する。</p> <p>疾病学各論は看護師の業務に直結する非常に重要な授業である。疾病に関する十分な知識がなければ、適切な看護を行うことはできない。この授業では、主要な疾患の概念、疫学、症状、検査所見、治療法、予後などについて解説する。</p> <p>疾病学各論 I で解説するのは、内科疾患(循環器疾患、呼吸器疾患、代謝疾患、消化管疾患、肝胆膵疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫疾患)、外科疾患(心臓外科、呼吸器外科、消化管外科、肝胆膵外科、乳腺外科)、整形外科疾患、産婦人科疾患、麻酔科などである。</p> <p>月曜5限目は対面授業、水曜5限目と木曜5限目は遠隔授業となる。</p> | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 主要な疾患の病態を説明できる。 2. 症状、検査所見、治療法を説明できる。 3. 他疾患との関連を説明できる。 4. 看護のポイントを説明できる。 | | | | | | | |
| 達成度評価 | | | | | | | | |
| 評価と評価割合／ 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 発表(口頭、プレゼンテーション) | レポート外の提出物 | その他 | 合計 | 備考 |
| 総合評価割合 | 90 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 100 | |
| 知識・理解 (DP1-1) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-2) | 70 | | | | | | 70 | |
| 知識・理解 (DP1-3) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-4) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-1) | 20 | | | | | 10 | 30 | |
| 思考・判断 (DP2-2) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-1) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-2) | | | | | | | | |
| 態度(DP4-1) | | | | | | | | |
| 態度(DP4-2) | | | | | | | | |
| 態度 (DP4-3) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-1) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-2) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-3) | | | | | | | | |
| 具体的な達成の目安 | | | | | | | | |
| 理想的レベル | | | | 標準的なレベル | | | | |
| 疾病学の十分な知識をもとに、ひとりの患者の病態を総合的に把握することができる。適切な看護をシミュレーションすることができる。 | | | | 主要な疾患に関する基本的な知識を身に付け、人に説明することができる。疾患に関する知識をもとに、看護をする際の注意点を説明することができる。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |
| 進行 | テーマ・講義内容 | | | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) | | 予習・復習時間(分) | |

| | | | | |
|----|--|----------|------------|----|
| 1 | テーマ: イントロダクション(浅野嘉延) テーマ: 呼吸器疾患(1) (浅野嘉延) 肺炎、結核、気管支喘息について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 2 | テーマ: 呼吸器疾患(2) (浅野嘉延) 間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 3 | テーマ: 呼吸器疾患(3) (浅野嘉延) 肺癌、気胸などについて解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 4 | テーマ: 代謝疾患(1) (浅野嘉延) 糖尿病(診断、症状)について解説する。 | 講義(対面授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 5 | テーマ: 代謝疾患(2) (浅野嘉延) 糖尿病(治療)について解説する。 | 講義(対面授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 6 | テーマ: 代謝疾患(3) (浅野嘉延) 痛風、酸塩基平衡について解説する。 テーマ: 内分泌疾患(1) (浅野嘉延) 甲状腺疾患などについて解説する。 | 講義(対面授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 7 | テーマ: 内分泌疾患(2) (浅野嘉延) 副腎疾患などについて解説する。 | 講義(対面授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 8 | テーマ: 循環器疾患(1) (浅野嘉延) 心不全について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 9 | テーマ: 循環器疾患(2) (浅野嘉延) 虚血性心疾患について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 10 | テーマ: 循環器疾患(3) (浅野嘉延) 不整脈、高血圧について解説する。 テーマ: 救急医療(浅野嘉延) 心肺蘇生などについて解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 11 | テーマ: 消化管疾患(1) (浅野嘉延) 上部消化管疾患について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 12 | テーマ: 消化管疾患(2) (浅野嘉延) 下部消化管疾患について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 13 | テーマ: 肝胆膵疾患(1) (浅野嘉延) 肝炎、肝硬変について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 14 | テーマ: 肝胆膵疾患(2) (浅野嘉延) 肝癌、胆石、膵炎について解説する。 テーマ: 免疫疾患(1) (浅野嘉延) アレルギーなどについて解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 15 | テーマ: 免疫疾患(2) (浅野嘉延) 膠原病について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 16 | テーマ: 神経疾患(1) (浅野嘉延) 脳血管疾患について解説する。 | 講義(対面授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 17 | テーマ: 神経疾患(2) (浅野嘉延) 神経筋疾患について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 18 | テーマ: 神経疾患(3) (浅野嘉延) 神経筋疾患について解説する。 テーマ: 運動器疾患 (浅野嘉延) 骨折、変形疾患などについて解説する。 | 講義(対面授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 19 | テーマ: 周産期疾患(1) (外部講師) 周産期疾患(不妊症など)について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 20 | テーマ: 周産期疾患(2) (外部講師) | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |

| | | | | |
|-----------------------|--|----------|------------|----|
| | 婦人科疾患(性感染症、更年期障害など)について解説する。 | | | |
| 21 | テーマ:周産期疾患(3) (外部講師) 婦人科疾患(卵巣癌、子宮癌、など)について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 22 | テーマ:外科疾患(1) (外部講師) 術後管理について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 23 | テーマ:外科疾患(2) (外部講師) 胸部(肺、食道)の外科について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 24 | テーマ:外科疾患(3) (外部講師) 消化管(胃、大腸)、急性腹症の外科について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 25 | テーマ:外科疾患(4) (外部講師) 肝胆膵の外科について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 26 | テーマ:外科疾患(5) (外部講師) 心臓の外科について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 27 | テーマ:外科疾患(6) (外部講師) 内分泌(甲状腺、乳腺)の外科について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 28 | テーマ:麻酔科 (外部講師) 麻酔について解説する。 | 講義(遠隔授業) | 当該部分の予習と復習 | 60 |
| 29 | | | 当該部分の予習と復習 | |
| 30 | | | 当該部分の予習と復習 | |
| 理解に必要な予備知識や技能 | <p>疾病に関する知識は看護師の日常業務に不可欠であり、看護師国家試験でも大きなウエイトを占めています。疾病学の系統講義は2年次の「疾病学各論Ⅰ」「疾病学各論Ⅱ」で最後となります。</p> <p>1年次の「形態機能学」「疾病学総論」の知識を整理してから授業に臨んで下さい。後期に開講される「疾病学各論Ⅱ」「看護のための臨床検査」とも関連します。疾病を多面的に捉えて理解するように心掛けて下さい。看護科目との関連や外部講師の都合で、授業の順序が入れ替わることがあります。授業中に通達します。</p> | | | |
| テキスト | <p>教科書:看護のための臨床病態学(改訂4版)、浅野嘉延編、南山堂</p> <p>ポイントをまとめたプリントを配布します。</p> <p>外科疾患や産婦人科疾患のテキストやプリントの配布は担当教員から指示があります。</p> | | | |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | <p>参考図書:看護のための臨床検査、浅野嘉延、南山堂</p> <p>臨床外科看護総論、医学書院</p> <p>臨床外科看護各論、医学書院</p> <p>その他、講義のなかで紹介します。</p> | | | |
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ | <p>講義は教科書と配布資料に沿って行いますので、該当する箇所を予習するとともに、講義後はしっかりと復習をして下さい。</p> <p>日頃からジャーナルやインターネットなどで疾病や健康についての関心を高め、分らないことは教員に質問するだけでなく、図書館で調べるなど積極的な姿勢に心がけて下さい。</p> | | | |
| 達成度評価に関するコメント | <p>期末試験 90%、授業貢献度 10%で評価します。</p> | | | |

